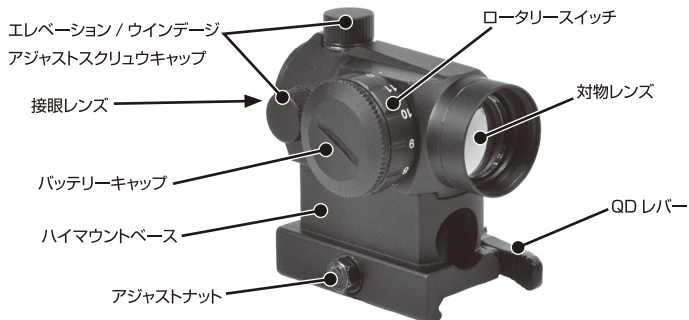


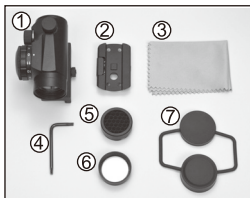
COMBAT T1

取扱説明書



倍率：1倍
レンズ径：22mm
全長：68mm
重量：177g(ハイマウント使用時)
使用電池：CR2032リチウム電池×1個

ドットサイズ：2M.O.A.または4M.O.A.
パララックスフリー：100ヤード(91m)
調整幅：50MOA以上
1クリックの調整値：1.0M.O.A.
耐衝撃：600G
防水：1m/30分
防塵：水：レンズはロータースコーティング済



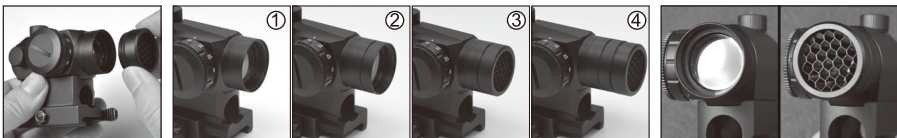
付属品

- ① 本体(ハイマウントベース装着済)
- ② ローマウントベース
- ③ クリーニングクロス
- ④ トルクスレンチ
- ⑤ キルフラッシュ
- ⑥ レンズガード(強化ガラス製)
- ⑦ レンズカバー

COMBAT T1の特徴

- **小型軽量** 全長68mm、重量177g。手のひらサイズの超小型軽量ドットサイト。
- **レンズは撥水コーティング** 対物 & 接眼レンズは、汚れを防ぐロータースコーティング(撥水処理)済。
- **2種類のマウントが付属** M16/M4のレシーバー装着時に適したハイマウントと、ローマウントの2種類が付属。
- **4通りのバリエーション** 対物レンズを被弾から守るキルフラッシュとレンズガードが付属。付け替えて4通りに変身。

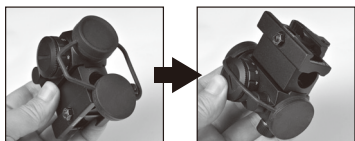
付属品の使い方



対物レンズには付属のキルフラッシュやレンズガードを取り付けることができます。

キルフラッシュとレンズガードは、片方だけまたは両方を装着することができます。①装着せしめず、②キルフラッシュのみ、③レンズガードのみ、④レンズガード&キルフラッシュの4通りを選択することができます。レンズガードは必ずキルフラッシュの手前(内側)に装着してください。

キルフラッシュは、レンズへの被弾による損害を防ぐ目的の他、レンズが反射して目立つしまうのを防ぐ効果もあります。



レンズカバーの取り付け方法です。まず厚みがある方を左の写真的ように対物レンズに装着してから、右の写真的ように薄い方のカバーを接眼レンズにかぶせて下さい。

注意

レンズガードに使用されている強化ガラスは通常の使用方法では破損しない強度を持っていますが、決して「割れない」「欠けない」ということはありません。万が一のキズ等が原因による破損の際、破片が細片となって激しく飛散することがありますので十分ご注意ください。



嚴重注意

COMBAT T1を装着する前に、常にエアガンに弾が入っていないこと、撃てる状態になっていないこと、安全装置がかかっていることを確認して下さい。これは装着のつど必ず実行して下さい。

COMBAT T1 の取り付け

● QDマウントの調節方法

COMBAT T1に付属のハイマウントベースは、レバー操作で簡単に着脱できるQDマウントになっています。8mmのレンチ(別売り)を使用することで、レールの幅に合わせてレバーを閉じた状態の締め付け具合を微調整できます。



QDレバーにあるロックングボタンをスライドさせることでQDレバーのロックを解除して下さい。



レバーを写真の向きに倒してマウントをオープン・ポジションにして下さい。



COMBAT T1をレールに取り付けて下さい。上写真で、左が前方=銃口側、右が後方=射手側になります。レールとの間に隙間が開かないように注意して下さい。



QDレバーを写真の向きに倒して、クローズ・ポジションにしてください。ロックング・ボタンが作動して適度な抵抗感を感じればOKです。



QDレバーを倒してロックしてもゆるい場合、あるいはキツすぎてレバーを倒せない(ロックできない)場合は、アジャストナットで調整して下さい。



レールに装着してQDレバーをクローズ・ポジションにしたまま、8mmのレンチでアジャストスクリューを回し、締め付け具合を調節して下さい。



注意

- 出荷時には、アジャストナットは緩み防止のため接着された状態になっています。調整後はネジロケテを使用して再び接着することをお奨めします。
- アジャストナットの締めすぎに注意して下さい。締めすぎるとQDレバーでの着脱ができなくなります。QDレバーをオープン・クローズ・ポジションにする際に適度な抵抗感を感じる程度に調節しましょう。

● ローマウントベースの使用法

ドットサイト底部にある4本のトルクスネジを外すことでベースを交換することができます。



ベースは特殊ネジで固定されているので、必ず付属の専用レンチを使って下さい。



マウントを下から見たところで、マウントは4本のトルクスネジでアジャストサイト本体に固定されています。



出荷時には、ネジはかなり強固に締め付けられています。作業の際には十分に注意してください。



取り付け時には、一つのネジをいきなり締め付けずに、まず4本とも軽く締めて下さい。



次に、4本のネジを対角線状に均等に締めて下さい。



レールへの取り付け方法です。まず、ベース側面のネジを付属のトルクスレンチを使って緩めます。



この写真のように、ロックカバーとマウントが一直線になるところまで緩めればOKです。緩めすぎないように注意して下さい。



レールにCOMBAT T1を取り付け、付属のレンチで締め付けて固定して下さい。



注意

出荷時には、ベースを固定しているネジは強固に締め付けてあります。六角レンチなどを使用するとネジ穴を損傷してしまい、ベースの着脱ができなくなる恐れがあります。必ず付属の専用レンチを使用して下さい。

COMBAT T1使用方法

●電池の交換方法

COMBAT T1は、CR2032リチウム電池を1個使用します。



ロータリースイッチが回らないように指で押さえながら、コインなどを用いてバッテリーキャップを反時計方向に回して外して下さい。



爪楊枝などの、柔らかくて先の尖ったものを使って電池を取り出して下さい。



電池を入れる時には「+」と「-」の向きを間違えないように注意して下さい。「+」が手前、「-」が奥になります。



注意

出荷時の電池はテスト用のため、電池寿命が短い場合があります。

●ゼロイン

COMBAT T1は、出荷時にレッドドットが中心に来るように調節してあります。レールの取り付けに問題がなければ、通常はごくわずかな調節だけで着弾点にレッドドットをあわせることができます。



ロータリースイッチを「0」以外の位置に回すとドットが点灯します。「1」から「11」まで、数字が大きくなるとレッドドットが明るくなっていきます。



ドットの位置に弾が当たらない場合、微調整を行なうことができます。アジャストスクリューキャップを外します。



キャップの中にアジャストスクリューがあります。上部のスクリューが上下方向、右側面のスクリューが左右方向の調節を行なうスクリューです。



狙った場所より下に当たる場合…エレベーションスクリューを「UP」方向に回します。上に当たる場合はその逆です。



狙った場所より左に当たる場合…ワインディングスクリューを「R」の方向に回します。右に当たる場合はその逆です。



0~10m
ゼロインは、10m以上の距離で行って下さい。それ以下の近距離では、着弾点はレッドドットの調整範囲よりも下になります。

10~50m
エレベーションスクリューの調整により、ドットの位置を着弾点に合わせることができます。ゼロインは、あなたがそのエアガンを通常使用するであろうと思われる距離で行います。その距離以外では、ドットが指示場所よりも上か下に着弾します。

50m~
エアガンの射程距離を超えた距離では、ドットの位置を着弾点に合わせることはできません。



注意

アジャストスクリューを無理に回さないでください。アジャストスクリューをいっぱいまで回した状態から、さらに無理に回すことは損傷の原因になります。

トラブルシューティング ～困ったときは～

●レッドドットが点灯しない

- 電池切れ ————— 電池を新しいものに交換します。
- 電池の向きが逆 ————— バッテリーキャップを外し、「+」が表側に来るように入れ替えます。
- ロータリースイッチの故障 ——— 販売店または製造元にご連絡ください。

●狙った場所に当たらない

- スクリュー調整範囲に収まらない — マウントベースがエアガンに対して真っ直ぐ取り付けられているか確認してください。
- 撃つたびに当たる場所がズレる — マウントベースとエアガンがしっかりとガタなく固定されているか確認してください。